

3. 景観形成の方針

3-1. 農村景観地区の景観形成方針

◇地区の現況と課題

- キャベツ栽培は、婦恋村の基幹産業となっており、キャベツ畑が広がっています。キャベツ畑の風景は、婦恋村を象徴する個性ある風景となっています。
- 各集落地の住民は、景観への関心がやや高く、現状の景観にある程度満足しています。また、地域によって、景観を損なっていると感じられる事項が異なることから、地域特性を活かした景観形成を図る必要があります。
- 婦恋村には、吾妻川などの河川があり、レクリエーションや散策の場として親しまれています。
- 鎌原観音堂をはじめとした長い歴史を持つ、神社・仏閣、史跡などが多く存在しており、その地域を特徴づける風景となっています。



キャベツ畑の風景



鎌原集落の風景

◇方針骨子

①地域特性を活かし、
景観特性に調和した
まち並み景観づくり

◇該当する景観地区区分

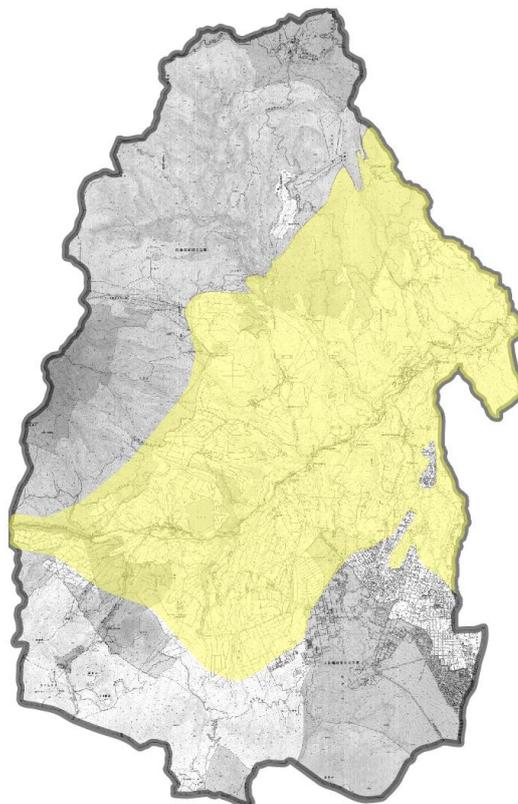
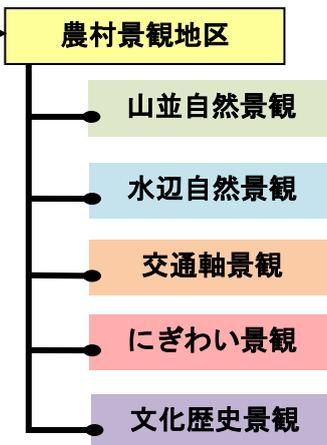


図 農村景観地区

地区区分毎の景観形成方針を整理します。

		景観形成方針
農村景観 地区		<p>○地域特性を活かし、景観特性に調和したまち並み景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ畑をはじめとする広大な農業景観を維持・保全していくとともに、緑豊かな山並みなどの自然と人の営みが調和した景観の形成を図ります。 ・集落地は、豊かな自然環境の保全・再生や多様な伝統文化の保全・継承を図ります。 ・集落地は、低層の建物の誘導など、集落固有の景観特性を考慮した景観の形成を図り、集落地からの眺望景観を維持します。
	山並 自然 景観	<p>○自然環境の保全、山並みの眺望に配慮した景観形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眺望点等からの山並み景観を遮らないように、まち並みの整備・誘導、眺望点周辺の樹木を適切に管理し、ランドマークとなる山の眺望を活かした景観の維持を図ります。 ・自然レクリエーション拠点は、嬭恋村を代表する緑あふれるレクリエーション施設として管理を徹底し、緑豊かな景観の保全とゆとりと潤いのある景観形成を図ります。
景観資源	水辺 自然 景観	<p>○開放的な空間が楽しめる、潤い豊かな水辺の景観形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吾妻川沿いの建築物、工作物等については、主要な橋梁や河川沿いの道路、堤上などからの眺望に配慮し、豊かな自然と調和した景観形成を図ります。 ・集落地を流れる河川は、身近にふれ合える親水空間として、暮らしに息づく景観の形成を図ります。 ・森林・溪谷の景観の保全を図ります。 ・水辺拠点は、水辺と一体となって景観を形成する景観要素の保全に努めます。 ・親水公園は、水辺や周囲の緑がまちにやすらぎと潤いを与えていることから、「水に親しむこと」を大切にしたい景観形成を図ります。 ・田代湖等の湖沼の水辺拠点の景観は、水辺空間からの山並みの眺望を保全します。 ・バラギ湖は嬭恋村を代表する親水空間が楽しめるレクリエーションの場としての景観の保全・活用を図ります。 ・湧水は、嬭恋村の貴重な水源であることから、湧水及びその周辺の自然環境の保全に努め、自然景観の保全を図ります。
	交通軸 景観	<p>○秩序や連続性が感じられる快適な道路の景観形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通軸は、多様な用途の建物が集積した中にも、一定の秩序や連続性を考慮した景観形成を図ります。 ・国道 144 号の沿道は、必要以上に目立つ意匠を控えるなど、主要幹線道路にふさわしい落ち着いた感じられる景観形成を図ります。 ・県道の沿道は、周辺の景観との調和を目指し、景観の阻害要素の低減に努め、緑豊かで潤いとゆとりのある景観形成を図ります。 ・鉄道軸は、車窓からの、吾妻川や山々の眺望に配慮し、自然と調和した景観の形成を図ります。 ・鉄道拠点は、駅及びその周辺地区が調和した景観の形成を図ります。 ・パノラマ軸は、周辺眺望景観の開放性を高くし、周辺等への良好な眺望を活用した景観形成を図ります。 ・パノラマラインは、農道としての機能を重視するとともに、嬭恋村特有の景観であるキャベツ畑を眺望する軸としての活用の検討を図ります。 ・浅間・白根火山ルート of 鬼押ハイウェイは、浅間山などを望める道路の軸、他の地域と嬭恋村の中心地を結ぶ道路の軸として、眺望景観の開放性を高め、景観の連続性を考慮した景観形成を図ります。 ・浅間・白根火山ルート of 万座ハイウェイは、良好なビスタ景観[※]が形成されていることから、沿道の自然が創り出す四季折々の色鮮やかな景観の保全を図ります。
	にぎわい 景観	<p>○自然とにぎわいが調和した景観の形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道 144 号沿いの商業拠点は、屋外の広告物や案内看板等を適切に誘導し、まとまりや秩序の感じられる魅力的な景観の形成を図ります。 ・万座・鹿沢口駅周辺は、嬭恋村の玄関口にふさわしいにぎわいと趣が感じられる景観形成を図ります。 ・愛妻の丘、キャベツ畑などの嬭恋村特有の景観への良好な眺望を保全します。
	文化歴史 景観	<p>○歴史の面影を感じられる歴史的景観の形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の拠点は、身近にある先人の生活の証として、村の成り立ちを知り、地域への愛着を深める上で重要な資源となることから、地域住民の郷土意識を育てる景観の形成を図ります。 ・鎌原観音堂は、歴史的な建造物を活かし、伝統的な意匠の継承に努め、歴史的な景観の形成を図ります。 ・ろう石山焼成炉跡は、歴史的資産の保全と活用による、嬭恋村らしさのある歴史・文化景観の形成を図ります。 ・地区内の神社は、地域の歴史的なシンボルとなる景観の形成を図ります。更に、神社敷地内の歴史的な巨木については、地域シンボルとして保全していきます。

3-2. 自然景観地区の景観形成方針

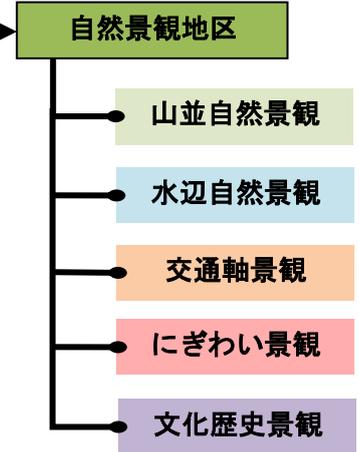
◇地区の現況と課題

- 住民意見（懇談会意見、アンケート調査）では、浅間山の眺望に関する意見、結果が多く出ていることから、浅間山を望む景観の維持・保全を図る必要があります。
- 嬭恋村の北部、西部、南部では、上信越高原国立公園に指定されており、良好な自然景観を形成しています。
- 嬭恋村には、国指定文化財の浅間山溶岩樹型があり、嬭恋村及び浅間山の歴史を物語る特有の資源となっています。

◇方針骨子

②広大な自然や、歴史を活かした嬭恋村特有の景観づくり

◇該当する景観地区区分



雄大な浅間山の風景



黒斑山から望む浅間山の風景

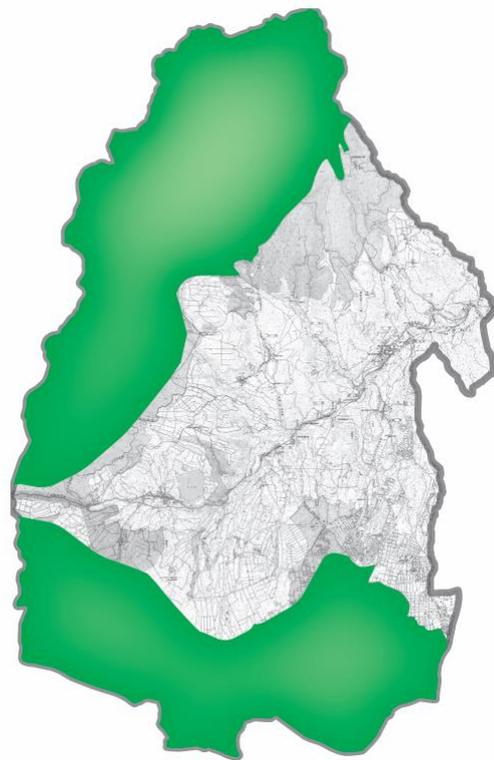


図 自然景観地区

地区区分毎の景観形成方針を整理します。

		景観形成方針
自然景観地区		<p>○広大な自然や、歴史を活かした嬭恋村特有の景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上信越高原国立公園の豊かな自然とふれあい、憩い楽しむことができるよう、自然と調和した景観形成に配慮します。
	景観資源	山並自然景観
水辺自然景観		<p>○開放的な空間が楽しめる、潤い豊かな水辺の景観形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺拠点は、水辺と一体となって景観を形成する景観要素の保全に努めます。
交通軸景観		<p>○秩序や連続性が感じられる快適な道路の景観形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通軸は、多様な用途の建物が集積した中でも、一定の秩序や連続性を考慮した景観形成を図ります。 ・県道の沿道は、周辺の景観との調和を目指し、景観の阻害要素の低減に努め、緑豊かで潤いとゆとりのある景観形成を図ります。 ・パノラマ軸は、沿道の樹木を適切に管理するなど周辺眺望景観の開放性を高くし、周辺等への良好な眺望を活用した景観形成を図ります。 ・浅間・白根火山ルート of 鬼押ハイウェーは、浅間山などを望める道路の軸、他の地域と嬭恋村の中心地を結ぶ道路の軸として、眺望景観の開放性を高め、景観の連続性を考慮した景観形成を図ります。 ・浅間・白根火山ルート of 万座ハイウェーは、良好なビスタ景観[※]が形成されていることから、沿道の自然が創り出す四季折々の色鮮やかな景観の保全を図ります。
にぎわい景観		<p>○自然とにぎわいが調和した景観の形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万座温泉、鹿沢温泉などに代表される温泉地は、自然風景と観光客のにぎわいが調和した豊かな景観形成を図ります。 ・浅間六里ヶ原休憩所、浅間山などの嬭恋村特有の景観への良好な眺望を保全します。
文化歴史景観		<p>○歴史の面影を感じられる歴史的景観の形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の拠点は、身近にある先人の生活の証として、自分たちの村の成り立ちを知り、地域への愛着を深める上では重要な資源となることから、地域住民にとっての郷土意識を育てる景観の形成を図ります。 ・国指定文化財は、嬭恋村の歴史の典型となることから、積極的に景観を保全していきます。

※見通し、街路・並木道などをまっすぐに通してみた眺め

3-3. 別荘地景観地区の景観形成方針

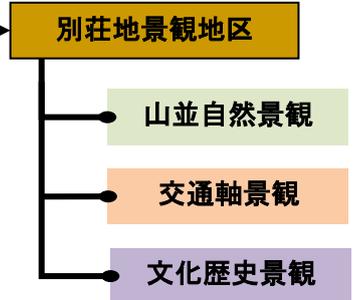
◇地区の現況と課題

- 古くからの集落地や新たに開発された別荘地など、それぞれの地域で多様な住宅地景観が形成されています。
- 別荘地区の利用者は、景観への関心が高く、現状の景観にある程度満足していますが、管理の行き届いていない古い家屋や別荘、電柱や電線類などが別荘地の景観を損ねています。

◇方針骨子

③別荘地の原風景と良好な居住環境を保全した、ゆとりある別荘地景観づくり

◇該当する景観地区区分



別荘地の主要な道路沿道の風景



別荘地の風景

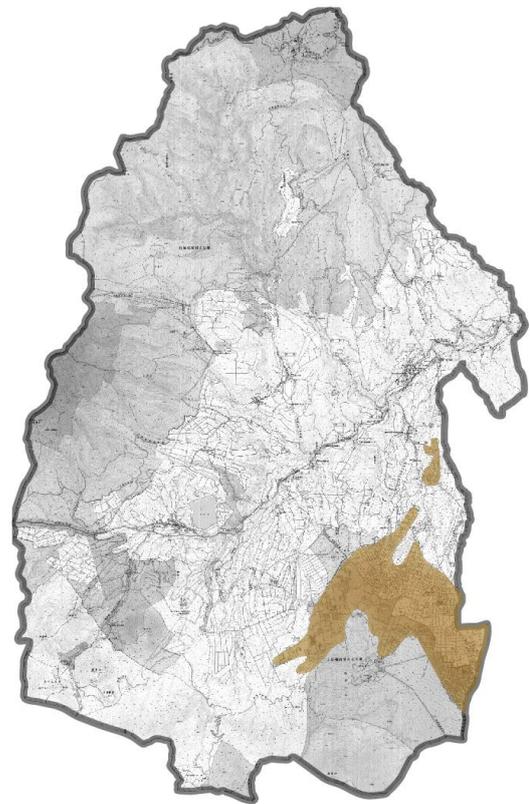


図 別荘地景観地区

地区区分毎の景観形成方針を整理します。

		景観形成方針
別荘地 景観地区		<p>○別荘地の原風景と良好な居住環境を保全した、ゆとりある別荘地景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別荘地を感じさせる低層低密度で緑豊かな居住環境の形成を図ります。 ・主要な道路沿道は、誘目性の高い意匠を控えるなど、別荘地にふさわしい風格が感じられる景観形成を図ります。 ・造成後の宅地が荒廃化することを防ぎ、別荘地としてのまとまりが感じられる景観形成を図ります。
	山並自然景観	<p>○自然環境の保全、山並みの眺望に配慮した景観形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然レクリエーション拠点は、嬭恋村を代表する緑あふれるレクリエーション施設として管理を徹底し、緑豊かな景観の保全と、ゆとりと潤いのある景観形成を図ります。
景観資源	交通軸景観	<p>○秩序や連続性が感じられる快適な道路の景観形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通軸は、多様な用途の建物が集積した中にも、一定の秩序や連続性を考慮した景観形成を図ります。 ・県道の沿道は、周辺の景観との調和を目指し、景観の阻害要素の低減に努め、緑豊かで潤いとゆとりのある景観形成を図ります。 ・パノラマ軸は、沿道の樹木を適切に管理するなど周辺眺望景観の開放性を高くし、周辺等への良好な眺望を活用した景観形成を図ります。 ・浅間・白根火山ルート of 鬼押ハイウエーは、浅間山などを望める道路の軸、他の地域と嬭恋村の中心地を結ぶ道路の軸として、眺望景観の開放性を高め、景観の連続性を考慮した景観形成を図ります。
	文化歴史景観	<p>○歴史の面影を感じられる歴史的景観の形成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の拠点は、身近にある先人の生活の証として、自分たちの村の成り立ちを知り、地域への愛着を深める上では重要な資源となることから、地域住民にとっての郷土意識を育てる景観の形成を図ります。

3-4. 景観形成重点地区の景観形成方針

景観形成重点地区毎の景観形成方針を整理します。

景観形成重点地区名称	景観形成方針
国立公園 特別保護地区、特別地域	自然環境の保全、山並みの眺望に配慮した景観の形成を図ります。
国立公園 普通地域地区	豊かな自然とふれあい、憩い楽しむことができるよう自然と調和した景観の形成を目指します。
環境保全地域内地区	国立公園の緩衝帯として自然に配慮した景観の形成を目指します。
別荘地地区	別荘地の原風景と良好な居住環境を保全し、良好な景観の形成を目指します。
商業拠点	自然とにぎわいが調和した景観の形成を目指します。